

ICANN75 ccNSO関連報告

第65回ICANN報告会
2022年10月20日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）

- 正式名称：

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ

- ICANNの活動を支える支持組織の一つ。170を超えるccTLDが参加している。
- ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

ccNSOに関連する主な会合

※ 下線のセッションが特にccNSOメンバ向けの内容です。

※ 本日は、以下の①~③についてご報告します。

9月18日(日)	ccNSO Council Preparatory Meeting
9月19日(月)	Tech day
9月20日(火)	<u>ccNSO : ccPDP3 Update Consultation</u> ① <u>ccTLD News session: Geographical Indications:</u> ② Joint Session: ccNSO & GAC
9月21日(木)	Joint Session: ccNSO & ICANN Board <u>ccNSO & Universal Acceptance session:</u> ③ <u>ccNSO Governance Session</u> <u>ccTLD News session</u>
9月22日(金)	ccNSO Council Meeting

① ccPDP3 Update Consultation (1/2)

(1) ccTLDの委任終了のプロセス

- 概要
 - ccTLDの委任終了確定後、基本5年以内にルートゾーンから削除を行う
 - 事前にIANAとの調整を行った場合には、最大10年までの延長が可能
- ICANN75での動き
 - ICANN理事会で承認
 - 2017年3月に開始した、委任終了のプロセスを検討するWG (Part1) が活動を終了

① ccPDP3 Update Consultation (2/2)

(2) プロセスのレビュー方法検討

- 概要

- delegation (委任)、transfer (移管)、revocation (解約)、retirement (委任終了) の判断に対するレビューメカニズム (再点検方法) の検討を実施

- ICANN75での動き

- レビューの対象・目的・実施者の要件などの方針に関する最終案をccNSOメンバーに照会

- 今後の進め方

- 特段の異論がなかったため、プロセスのレビュー方法を検討するWG (Part2) にて、方針に基づき文書を作成

② ccTLD News session: Geographical Indications (1/3)

• Geographical Indications (GI) とは？

農林水産物・食品等の名称であって、その名称から当該製品の産地を特定でき、製品の品質等の確立した特性が当該産地と結びついているということ特定できるものです。

出典:「地理的表示とは」より一部抜粋
< <https://gi-act.maff.go.jp/outline.html> >

ー 例:

- パルミジャーノレッジャーノ(イタリア)
- ロックフォール(フランス)
- ニュルンベルガー(ドイツ)
- 神戸ビーフ(兵庫県)
- 夕張メロン(北海道)

② ccTLD News session: Geographical Indications (2/3)

- 背景
 - 欧州委員会 (EU Commission) がドメイン名をGI保護の対象に含めることを提案
- 概要
 - WIPOより、GIおよびGI保護に関する取組みを紹介
 - 一部ccTLDにおいては、GI保護を念頭に置いた独自の紛争処理方針を採用
 - CENTRより、EUにおけるGI保護に関する動きを紹介 (ドメイン名も対象とする規制の動きが出ている)
 - 現状、UDRPの適用範囲にGIは入っていない
 - 欧州委員会の提案は、EUのccTLDのみが対象
 - .in (インド)、.ca (カナダ)、.uk (イギリス) より、自TLDのGIへの対応状況を紹介

② ccTLD News session: Geographical Indications (3/3)

- セッション参加者に対し、以下が共有された
 - ccTLD毎に、様々な形でGIへの対応が行われていること
 - 今回紹介された欧州委員会の提案は、今回発表した3つのccTLDには直接の影響は与えないこと

③ ccNSO & Universal Acceptance (1/2)^{JPRS}

• 概要

- IDN ccTLDを運用するレジストリを中心に、自組織の取り組みや「ccNSOのUniversal Acceptanceの普及促進における役割」等について共有
 - .th(タイ)、.in(インド)等
- ccNSOが取り組むべき活動に関し、セッション中にオンライン投票ツールを用いて意見を照会
 - 投票は、ccTLDのみが参加可能
 - 以下のような内容が照会された
 - ccNSOはIDN ccTLDの利用をできるように業界(ソーシャルメディアなど)に働き掛けるべきか
 - ccNSOはUAに関する取り組みを共有する場を、積極的に設けるべきか？

③ ccNSO & Universal Acceptance (2/2)

• 結果

- 意見照会では、ccNSOがUAに対し、積極的に取り組むことについて一定の支持は得られたものの、大きな支持は得られず
- セッションでの結果を受け、会期最終日のccNSO評議委員会内で今後の進め方を議論を行い、評議委員会内にUAに関するad-hocグループの設置を決定

• 今後の進め方

- Ad-hocグループにてセッションの結果を分析し、UAの普及促進に向けたccNSOの役割について評議委員会に提案

